

高齢者を孤立させない！

声かけ見守り巡回事業



6月から始まった
声かけ見守り巡回事業
～象潟地域～

抱える高齢者も多くなっています。

平成21年10月の人口推計によると、全国平均の高齢化率（人口に占める65歳以上の高齢者割合）は22・7%、秋田県は28・9%と高齢化率が高く、全国で2位となっています。

にかほ市の22年4月末の人口は28,249人、そのうち高齢者人口は8,048人で高齢化率は28・5%でした。毎月、高齢化率が少しずつ上昇しています。

また、施設等に入室している方を除く、ひとり暮らしの高齢者世帯は、10世帯に1世帯という状況となっています。

高齢者ほど会話頻度が低下

内閣府の「高齢者の生活実態に関する調査（21年12月）」によると、「会話の頻度」については、全体の92・1%が「毎日会話している」、一方「2〜3日に1回以下」の人が7・9%

声かけ見守り

巡回事業Q&A

Q どういう人が対象？

A 75歳以上のひとり暮らしの高齢者、または高齢者のみの世帯が対象です。

※次の世帯は、対象外です。

- ①施設等に入室、病院に入院している世帯
- ②介護保険サービスのケアマネジャー訪問世帯
- ③生活保護世帯

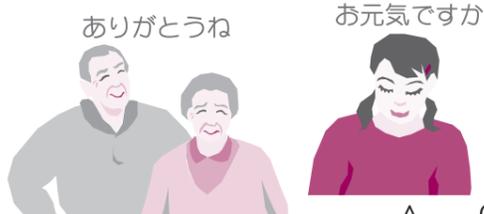
Q 巡回日は連絡するの？

A 個別に連絡はしません。次の日程で巡回予定です。

- 【象潟地域】 9月まで
- 【金浦地域】 10月〜11月
- 【仁賀保地域】 12月〜2月

Q 誰が訪問するの？

A 市社会福祉協議会の職員と相談員です。民生委員と自治会長からも、巡回に協力していただきます。



声をかけること…

見守ること…

核家族化が進み、高齢者世帯は今後も増えていくことが予想されます。高齢者が、安心して暮らすためには、行政だけでなく、地域で声をかけ、見守っていくことが大切です。

朝の「おはよう」のひとつ。誰かと世間話をする。こんな何でもないことが、高齢者の孤立を防ぎ、不安の解消につながります。さりげない見守りも重要です。「郵便物や新聞がいつぱいになっていない」「暗くなっても家に明かりがついていない」など、異変の早期発見につながります。

高齢者自らも、普段から地域とつき合い、人間関係を築いていくことが大事です。市では、声かけ見守り巡回の聞き取り調査を基に、下のイメージ図のような声かけ見守り体制の整備を進めて、高齢者世帯を支援していきます。

●声かけ見守り巡回事業に関する問い合わせは…

- 市民福祉部
- 子育て長寿支援課

☎32・3042

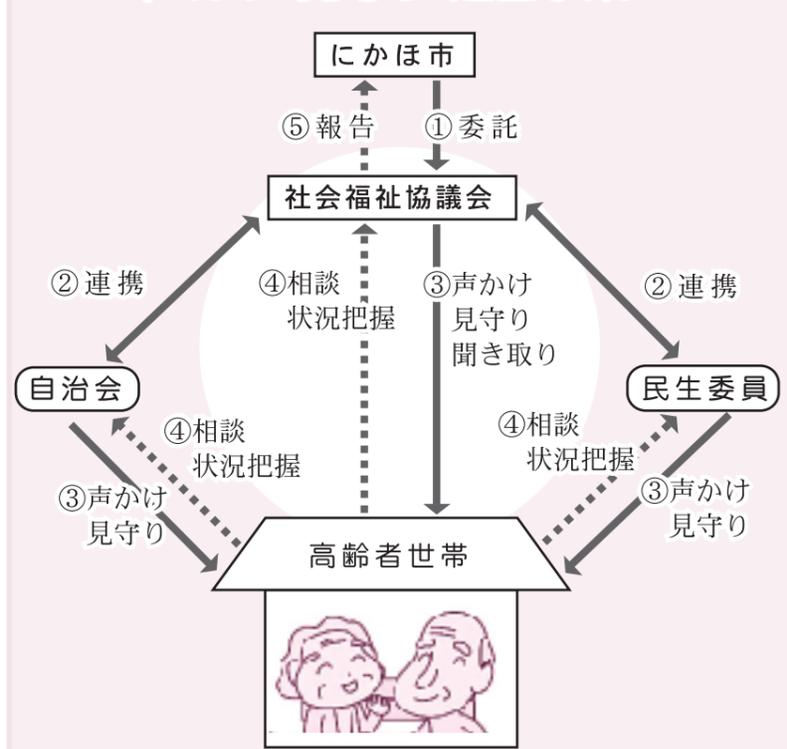
でした。高齢になるほど会話の頻度は低下する傾向にあり、特にひとり暮らし世帯では、「1週間に1回以下、ほとんど話をしない」が、男性で11・8%、女性で6・6%でした。

にかほ市でも高齢者のひとり暮らし世帯が増加しており「高齢者の社会的孤立」が懸念される状況となっています。

地域と連携した
声かけ見守り巡回を実施

これらを踏まえ、今年度、市が実施する「高齢者声かけ見守り巡回事業」は、声かけ、見守りを行いながら、市内のひとり暮らし高齢者世帯の現状を把握し、日常生活における不安解消を図っていくものです。手始めに、対象世帯を訪問し、聞き取り調査を行います。ご協力をお願いします。

声かけ見守り巡回事業



声かけ見守り体制のイメージ

